



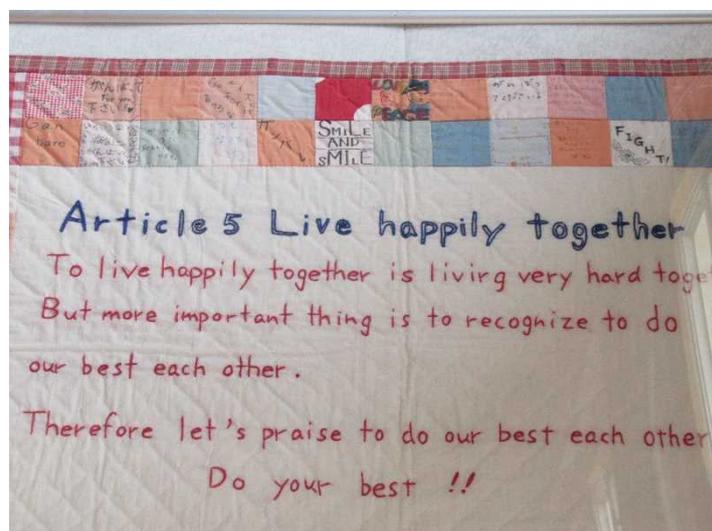
# 梅中のこと知っとう その2

令和3年 7月  
福岡市立梅林中学校  
学校だよりNo.5  
文責 校長(尾崎)

## ○掃除の梅中と呼ばれた頃

昭和50年代から平成が始まった10年くらいまでは、他校や地域の人から「掃除の梅中」と呼ばれた頃です。平成4年頃の生徒会が「SKKAと梅中」というスローガンを掲げました。当時は朝、帰りの会前に掃除が2回ありました。月に1回大掃除があり、大掃除の日は全身体操服に着替えていました。学期に2回は清掃コンクールが行われクラスで清掃のやり方や態度、状況を点検、評価していました。校門から体育館の前まで箒の目をきれいにに入れて掃いていたので来校者が「そこを歩いていいのですか」と尋ねられることもありました。部活動の生徒は練習試合などで行った学校や会場を掃除して帰って来ていました。そのようなことが評判になり「掃除の梅中」と呼ばれるようになったようです。

## ○梅中人権宣言とキルトの会



平成7年に発足したキルトの会は保護者が世界中のHIV感染の子どもたちにベビーキルト贈る国際ボランティア活動に協力する活動として発足しました。梅中人権宣言は平成6年に日本が「子どもの権利条約」を批准したことを受けて平成7年、いじめによる自殺が問題化し全国的にいじめ問題が多発したそんな社会情勢の中で生徒会の生徒が「何か私たちにできることはないだろうか」と話し合いを始め、審議を重ね平成8年に発表されました。この「梅中人権宣言」は、平成9年に英語訳され、その思いを受け継ごうと英文を刺繍し学校に寄贈されました。

この活動は新聞などのマスコミや福岡市の人権啓発ビデオに取り上げられたりするほど注目を集めました。生徒会と保護者が連携して多くの人にメッセージを送った時代がありました。

梅中人権宣言は前文と5条から成る宣言文です。学校生活のあるべき理想、学習の本来の目的、人として他者にどう向き合うべきか、協力や共生の必要性、平等であることや気付きの重要性、人としての生き方など見事にまとめられている宣言文です。前文と5条の宣言文が体育館の入り口壁面に掲示してあるのは、みなさん知っていますよね。

過去の梅中生が頑張ったこと「何か私たちにできる事はないだろうか」と思い、考え行動することはたいへん素晴らしいことであるし、中学生としてそのような活動をすることはたいへん貴重な体験になると思います。さあ今、梅中の生徒のみなさんも何か人のために貢献できることはないか考えてみてください。小さな事でもいい、一人の思い、行動力が多くの人に広がり大きくなって、ものすごい力となっていくはずですよ。